

117

一般情勢報告

大正拾五年度大會終了後の遊友同志會は實に惡戰苦闘の秋を経てきた。即ち從業員の自覺未だ不十分に因る運動上の困難と遊信部内の逆妄なる官僚一流の陰險醜惡な組合抑壓の事實である。

然し乍ら從業員にありては労働運動の急激な發展と我々が連反同志會の不断の啓蒙運動とによる刺激を蒙るうけ漸次覺醒しつつある加之當局の覺へざる抑壓は從業員の心を激然成し時代への伸長を心ざして一層迅速に労働組合の陣営に加りつゝある。

我遊友同志會は恒に通信事業の改善能率の増進に盡力しつつあるが我等は一方逆妄なる官僚に對して勇敢に戦へつゝある。昨年六月二十日の明治會館に於ける遊信從業員の團結を擁護せんがため當局の態度批判演説會越へて拾月十一日より十七日まで約一週間に渡る遊信部内最初の神田争